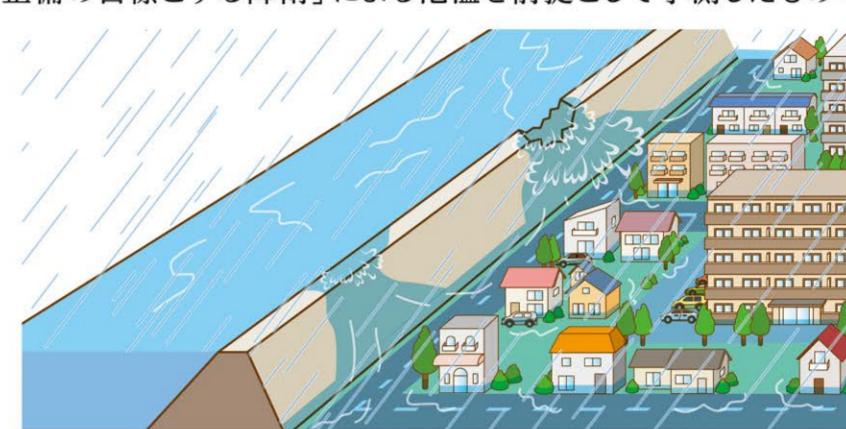


瀬谷区洪水ハザードマップ 洪水浸水想定区域(計画規模※)

境川水系河川：境川、和泉川、阿久和川、相沢川

この洪水ハザードマップは、境川水系の河川の氾濫が予想される場合や実際に氾濫した場合に、浸水が想定される区域の皆さんに速やかに避難していただくために作成したものです。

計画規模とは「河川整備の目標とする降雨による氾濫を前提として予測したもの

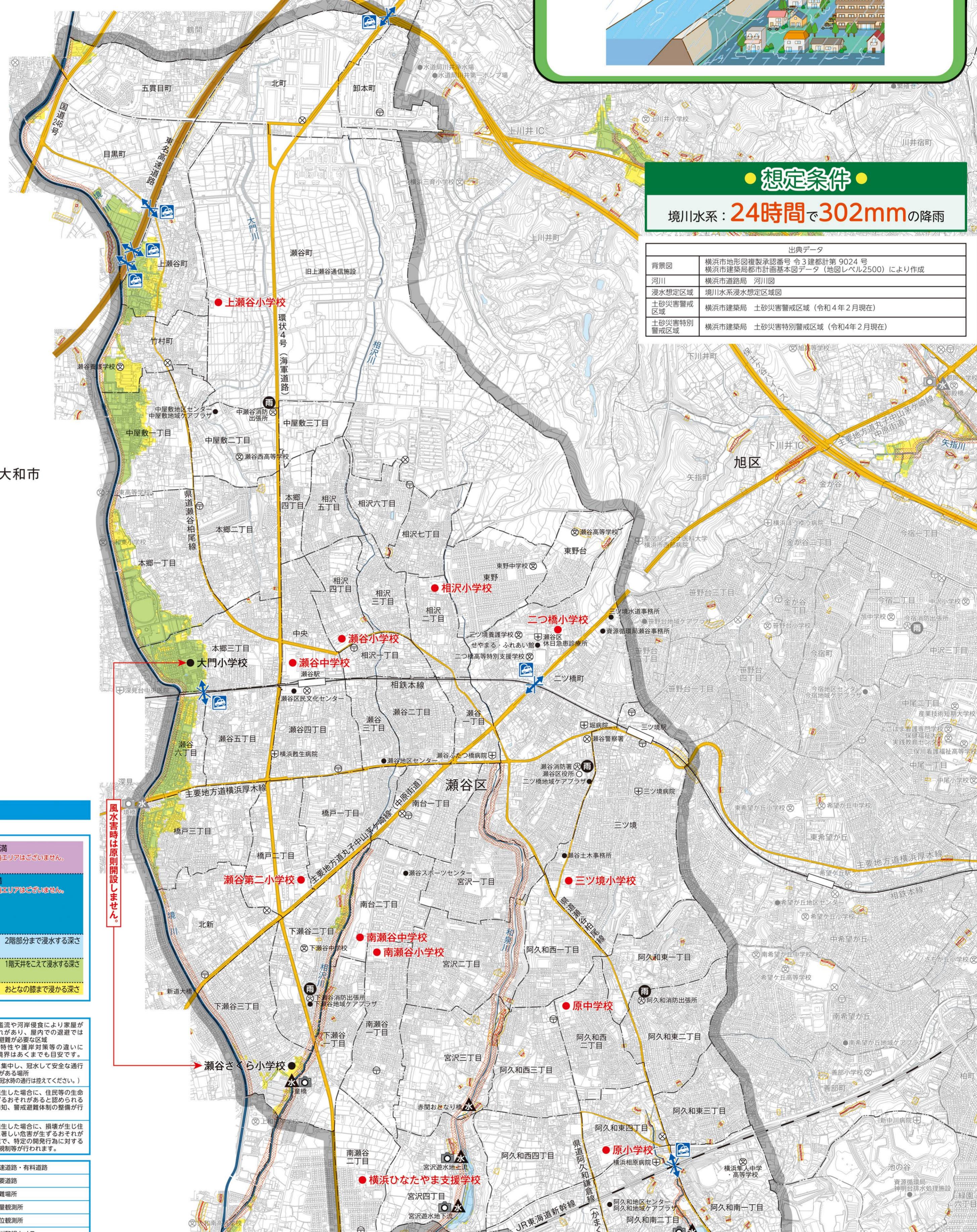


●想定条件●

境川水系：24時間で302mmの降雨

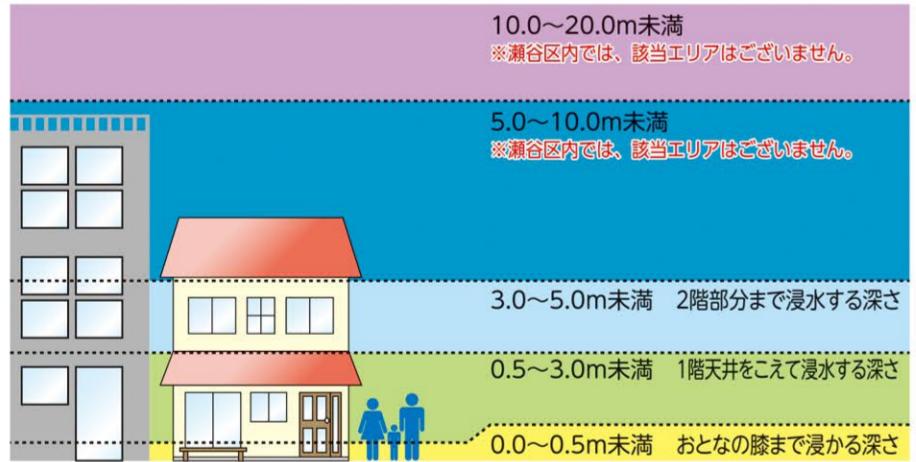
出典データ	
背景図	横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9024 号 横浜市建築局都市計画基本図データ（地図レベル2500）により作成
河川	横浜市道路局 河川図
浸水想定区域	境川水系浸水想定区域図
土砂災害警戒区域	横浜市建築局 土砂災害警戒区域（令和4年2月現在）
土砂災害特別警戒区域	横浜市建築局 土砂災害特別警戒区域（令和4年2月現在）

A compass rose with a vertical needle pointing upwards, labeled 'N' at the top.



凡例 (Explanatory Notes)

◎浸水深のめやす



◎避難する際に注意する箇所

	家屋倒壊等氾濫想定区域	堤防決壓等に伴う氾濫流や河岸侵食により家屋が倒壊・流出するおそれがあり、屋内での退避ではなく、早期の立ち退き避難が必要な区域 ※家屋の構造、強度特性や護岸対策等の違いにより、この区域の境界はあくまでも目安です。
	アンダーパス	大雨時に雨水が急激に集中し、冠水して安全な通行に支障をきたすおそれがある場所 (進入すると危険なため、冠水時の通行は控えてください。)
	土砂災害警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。
	土砂災害特別警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

	都県界		高速道路・有料道路
	市区界		主要道路
	町丁目界		避難場所
	J R 線・駅		雨量観測所
	私鉄線・駅		水位観測所
	水位計		水位計

水害時ににおける避難場所について

◇避難する際は、必ず 東・区のホームページやテレビ(ニュース放送)等で開設されている避難場所をご確認ください。

◇2か所以上の避難場所へ避難できるよう、自分自身であらかじめ複数の避難経路を確認しておきましょう。

◇すでに浸水が始まっている場合などには無理に避難場所へ移動せず、浸水していない近くの高いところに避難してくがどい。

避難してください。
なお、瀬谷区では

なお、渓谷区では避難場所として、下記に示した施設を優先して開設します。

未判定	避難場所
台風接近時やゲリラ豪雨により、境川に浸水被害が予想される場合	上瀬谷小学校、瀬谷中学校、瀬谷第二小学校
台風接近時やゲリラ豪雨により、区内河川に浸水被害が予想される場合	上瀬谷小学校、瀬谷中学校、瀬谷第二小学校、原小学校
大型台風接近時等、区内で浸水被害に加え、風による被害が予想される場合	上瀬谷小学校、瀬谷中学校、瀬谷第二小学校、原小学校、三ツ境小学校、二つ橋小学校
上瀬谷小学校、瀬谷中学校、瀬谷第二小学校、原小学校、三ツ境小学校、二つ橋小学校が、工事等により開設できない場合の代替として開設	瀬谷小学校、南瀬谷小学校、相沢小学校、横浜ひなたやま支援学校、阿久和小学校、原中学校、南瀬谷中学校

※瀬谷さくら小学校・大門小学校は、原則として開設しません。